

平成七年度  
福島県立盲学校・聾学校・養護学校高等部入学者選抜について

福島県立盲学校・聾学校・養護学校高等部入学者選抜の基本方針及び選抜日程は、次のとおりです。

基本方針

○「一般選抜」のみ実施する。

石の地蔵さん

音高 幸子

チャイム



猛暑の夏も秋へと傾き、庭先や草むらに、彼岸花の鮮やかな赤を見つけた頃となった。意表をつく…といった風情で、ひよっこり顔を出すこの花の咲き方には、いつもはとさせられる。墓参りの道すがら、お地蔵

高等部入学者選抜は、中学校長または、中学部設置学校長より提出された調査書、選抜のための学力検査の成績、障害の種類・程度及び面接の結果を資料として、各高等部設置学校の実態を考慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して行なうこととする。

一 中学校または中学部設置校においては、調査書を厳正・公平に作成する。

二 高等部設置校においては、調査書を十分に尊重する。

三 学力検査問題の出題は、中学校

学習指導要領、盲学校・聾学校・養護学校中学部学習指導要領に基づき、適正なものとする。

四 学力検査を実施する教科は、国語、社会、数学、理科の四教科及び高等部設置学校長が定める一教科（又は養護・訓練）とする。

ただし、精神薄弱を教育する養護学校高等部の教科については、別に定める。

五 選抜に当たっては、面接を実施する。

\* 高等部入学者選抜を実施するのは、次の七校です。

様の足許を、あかあかと染める一群の彼岸花。今年も、赤い頭巾と前かけ姿を映して美しい。やや鋭角的な切れ長の目と、ふっくらした頬の表情をもつお地蔵様に、穏やかな意志を見る思いがする。見とれていて、ふとほろ苦い思い出が浮かんだ。小学校入学間もない頃のことである。「皆の前で歌える人…」との先生の問いに、私を含む数人が手を挙げた。運よく(?)指名された私は、無邪気に喜んで先生の横に立つ。瞬間、膨らんだ風船がいっぺんにしぼんだように声が出ない。いくら頑張ろうとしても、身体が固くなってしまふのだ。後ろの席から前に進み出る時には、

予想もしなかった級友の顔々と視線。その驚きに足がすくんだ。先生は何度も私を促し、なじり、「こんな人を、石の地蔵さんというんだよ。」と言った。初めて味わう屈辱の感情。幼心に描いた女先生の優しさは、碎け散った。後年、先生の思いと、自分の情けなさを理解できるようになって、先生の笑顔を憶えていないのは、さびしいことである。それにしても、目の前のお地蔵様は、石であっても心が通う。あの時の私の顔は、お地蔵様ではなく、小鬼のような表情であったに違いない。さわやかな秋風が吹いて、彼岸花が揺れた。(福島市蓬萊公民館運営審議会委員)

平成7年度福島県立盲学校・聾学校・養護学校入学者選抜日程

— 一般選抜関係日程 —

願書提出	平成7年2月13日(月)～2月20日(月)
出願先変更	平成7年2月23日(木)～2月27日(月)
調査書提出	平成7年3月2日(木)～3月4日(土)
学力検査	平成7年3月16日(木)
面接	平成7年3月16日(木)または17日(金)
合格者発表	平成7年3月20日(月)

- 盲学校
- 聾学校
- 会津養護学校(精神薄弱教育)
- いわき養護学校(精神薄弱教育)
- 郡山養護学校(肢体不自由教育)
- 平養護学校(肢体不自由教育)
- 須賀川養護学校(病弱教育)

※なお、詳細については、各実施校にお問い合せ下さい。